



「中干し」を実施しましょう!!

5月は晴れた日が多くなり、平均気温もかなり高く、生育はおおむね平年並みに経過しました。今後気温が高く推移する気象予報が出ています。過剰分けつによって籾数が多くなりすぎると「乳白粒」や「くず米」の発生が多発します。まだ中干しを実施していない圃場は早急に中干しを行ってください。

中干し終了時期 ゆめみづほ：6月23日頃、コシヒカリ：7月5日頃

うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~6	1. 播種量（うす播きの励行） 2. 育苗日数（健苗の育成） 3. 植付本数（3~4本植えの励行） 4. 適正な栽植密度（優良茎の確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植えの防止）	
7	中干し・溝切り (遅発分けつの抑制)	・ 田植え 1か月後 からの実施（過剰生育防止） ・ 中干し期間 1か月 （コシヒカリ）の遵守
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・ 7月上旬までの追加除草 ・ 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・ 中干し後から出穂までの約 1か月 （コシヒカリ）の飽水管理 ・ 出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理
10	刈取時期 (適期刈取りの励行)	・ 籾の黄化程度に応じた刈取り

水稻の生育状況

生育状況（管内生育観測田平均、5月28日調査）

ゆめみづほ					コシヒカリ				
草丈 (cm)		茎数 (本)			草丈 (cm)		茎数 (本)		
本年	平年	本年 (株)	本年 (㎡)	平年 (㎡)	本年	平年	本年 (株)	本年 (㎡)	平年 (㎡)
25.7	23.7	18.2	340.1	188.2	27.1	26.2	10.9	206.1	143.2

- 株で き：ゆめみづほ、コシヒカリとも茎数は平年より多くなっています。
⇒田植えから1か経過した圃場では遅れず中干しを開始しましょう！
- 葉齢の展開：ゆめみづほ・コシヒカリともに平年並みになっています。
- 出 穂：ゆめみづほの出穂は平年より早い7月18日頃が見込まれています。

今月のポイント1 ゆめみづほの穂肥

目指そう! ゆめみづほの600kgどり

基肥一発肥料への追加穂肥の施用

近年の登熟期の高温による栄養凋落防止のため、追加穂肥の施用で登熟を向上させましょう。

品種	施用時期	肥料名	施用量
ゆめみづほ (平坦部)	7月11~13日 (出穂1週間前~ 走り穂が出る頃まで)	BBとれるぞう (15-5-10)	7~10kg /10a

- ※葉色が濃い圃場は施用しない。(ゆめみづほで葉色板5以上)
- ※玄米タンパク質含有率が高まるので、**出穂期以降は絶対に施用しないこと。**

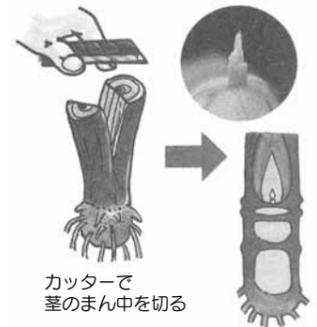
★穂肥の時期が早すぎたり施用量が多すぎると籾数が過剰になり、未熟粒の発生や倒伏の原因となりますので、必ず適期に適量を施用してください。

分施タイプ（一発肥料を使用していない圃場）

穂肥の施用時期と施肥量

1回目 BB有機入りいしかわライト550 20kg/10a
幼穂長3~5mm 出穂20日前 6月27日~29日
2回目 BB有機入りいしかわライト550 20kg/10a
止葉展開 出穂10日前 7月7日~9日

ゆめみづほ 幼穂長3mm (出穂20日前)



注) 幼穂長を確認してから穂肥を施用しましょう。

**ゆめみづほ
1回目穂肥時期**
(出穂20日前の標準的生育)

草丈 50~55cm
茎数 30~35本/株
葉色 4.0~4.2

※葉色は、営農の手引き裏表紙の葉色見本をご参考下さい。

裏面に続きます

「ゆめみづほ」の一俵增收! 一発肥料でも穂肥を

病害虫防除は遅れないように確実にいきましょう!

カメムシ防除のため、7月上旬までに畦畔・農道等の仕上げ除草を！

6月22日、23日は一斉除草デーです！

今月のポイント2 コシヒカリの登熟向上対策 ⇨営農の手引き44ページも参照ください

珪酸加里プレミア 30kg/10aまたは PKけいさん特号 40kg/10aをまだ施用していない方は早めに施用しましょう。

○「けい酸パワーコシー発くん」を施用した圃場には散布する必要はありません。

今月のポイント3 乳白粒発生防止対策 ⇨営農の手引き12ページも参照ください

～幼穂形成期から出穂後3週間までの水管理は間断通水で～

稲は、幼穂ができ始めてから出穂後3週間までの間に最も水を必要とします。

(幼穂形成期=ゆめみづほ；6月23日頃、コシヒカリ；7月5日頃)

中干し後は3日間隔の間断通水を行い、土壌表面が常に湿った状態に保ちましょう。

今月のポイント4 カメムシ対策 ⇨営農の手引き11、47ページも参照ください

- ①カメムシの生息密度を下げるため、畦畔・農道等の除草を行いましょう。
→刈った草が用排水路に入らないように注意しましょう。
- ②7月上旬までに仕上げ除草を実施し、中旬以降の草刈りは行わないようにしましょう。
→7月10日以降の草刈りはカメムシ類を水田内に追い込むことになります。

今月のポイント5 稲こうじ病の防除対策 ⇨営農の手引き48ページも参照ください

止め葉が出るまでに「Zボルドー粉剤DL」を4kg/10a散布してください。
散布時期は出穂の14～10日前です。(早生：7月6日頃、コシヒカリ：7月中旬)

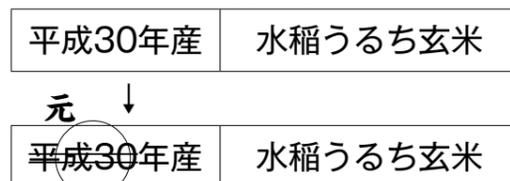
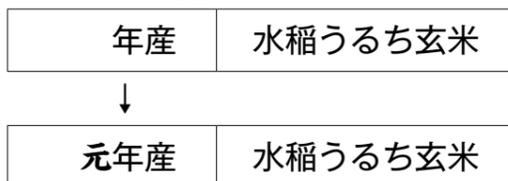
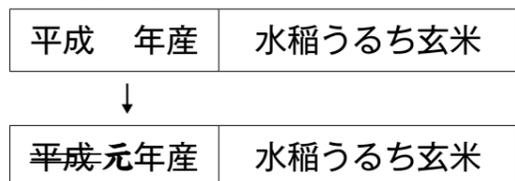
- 常発地や過去3年以内に発生した圃場では、必ず継続して散布を行ってください。
- 玄米に混入すると規格外となります。

今月のポイント6 イナゴ対策

昨年、イナゴが発生した地区については「トレボン粉剤DL」を3～4kg/10a散布してください。

昨年度以前の玄米用紙袋の使用について

- ①「平成 年産」記載の紙袋使用の場合
平成を二重線で取り消し、「元」を記入する。
- ②「 年産」記載の紙袋使用の場合(平成が印字されていない場合)
「元」を記入する。
- ③すでに手書き(もしくは印刷)で「30」を書き入れてある場合
「平成30」を二重線で取り消し、「元」を記入する。



↑農産物検査員日付印による訂正印

- ①②③全て新元号は手書きしなくても良いです。
- ③については農産物検査員日付印による訂正印は必要です。
- 年産表記は「元」または「1」のどちらを書いても良いです。

ゆめ現地講習会日程

開催日	曜日	開催時間	開催場所
6月20日	木	17:30～	JAグリーン前
6月20日	木	17:30～	津幡東支店前
6月20日	木	17:30～	JA配送センター(かほく市森)
6月21日	金	17:30～	JA大海倉庫前
6月21日	金	17:30～	JA萩坂倉庫前

◎開催内容について

- 1. ゆめみづほ1俵増収のポイント
- 2. コシヒカリの本田雑草対策のポイント
- 3. カメムシ(斑点米)対策のポイント
- 4. 早生品種の穂肥診断と今後の管理について

都合のよい会場にご参加ください

水稻栽培履歴への記入確認をお願いします。